

製品名: CD70 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08442**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	30kDa

抗原情報

遺伝子名	CD70
別名	CD70; CD27L; CD27LG; TNFSF7; CD70 antigen; CD27 ligand; CD27-L; Tumor necrosis factor ligand superfamily member 7; CD antigen CD70
遺伝子 ID	970.0
SwissProt ID	P32970
免疫原	抗血清はヒト CD70 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 68-117

背景

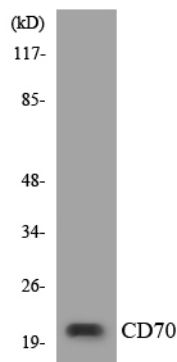
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、腫瘍壊死因子 (TNF) リガンドファミリーに属するサイトカインである。このサイト

カインは TNFRSF27/CD27 のリガンドであり、活性化 T リンパ球および B リンパ球の表面抗原であるが、休止期 T リンパ球および B リンパ球の表面抗原ではない。共刺激を受けた T 細胞の増殖を誘導し、細胞傷害性 T 細胞の産生を促進し、T 細胞の活性化に寄与する。また、このサイトカインは B 細胞の活性化、ナチュラルキラー細胞の細胞傷害性機能、および免疫グロブリン合成の調節にも関与することが報告されている。[RefSeq 提供、2008 年 7 月],機能: CD27 に結合するサイトカイン。T 細胞の活性化に関与する。共刺激を受けた T 細胞の増殖を誘導し、細胞傷害性 T 細胞の産生を促進する。、類似性: 腫瘍壊死因子ファミリーに属する。、サブユニット: ホモ三量体。、

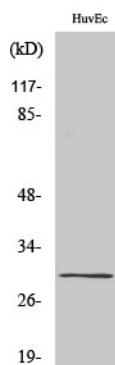
研究分野

サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用;

画像データ



CD70 抗体を使用した Jurkat 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



1: 2000 に希釈した CD70 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析